

2010年3月期 決算説明会

井関農機株式会社

社長 蒲生 誠一郎

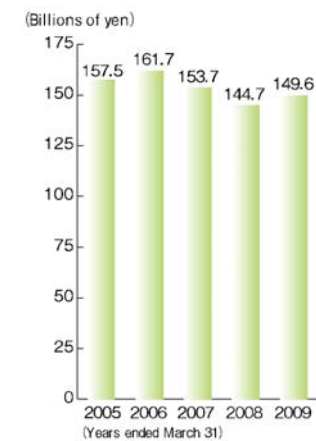
2010年5月21日

目次

1. 2010年3月期 業績の概要
2. 国内外市場の動向
3. 2011年3月期 通期業績予想
4. トピックス

1. 2010年3月期 業績の概要

Net Sales



業績の概要

(単位：億円、%)

科 目	08/3期 実績		09/3期 実績		10/3期 実績		前期比 増減	10/3期 業績 予想	予想比 増減
	金額	比率	金額	比率	金額	比率			
売上高	1,447	100.0	1,496	100.0	1,493	100.0	△ 3	1,480	+13
(国内)	1,227	84.8	1,265	84.6	1,312	87.9	+47	1,300	+12
(海外)	220	15.2	231	15.4	181	12.1	△50	180	+ 1
売上総利益	451	31.2	459	30.7	474	31.7	+15	465	+ 9
販管費	444	30.7	443	29.6	429	28.7	△14	432	△ 3
営業利益	7	0.5	16	1.1	45	3.0	+29	33	+12
経常利益	0	0.0	8	0.5	36	2.4	+28	21	+15
当期純利益	△15	△1.0	0	0.0	23	1.6	+23	11	+12

・ 10/3期平均為替レート実績は、米ドル：93円、ユーロ：129円

国内売上高の内訳

(単位：億円)

	08/3期 実績	09/3期 実績	10/3期 実績	前期比 増減	備考	10/3期 予想	予想比 増減	備考
整地機	269	275	277	+ 2	乗用管理機：+3	277	-	
栽培機	115	133	114	△19	田植機：△19	111	+ 3	田植機：+3
収穫調製機	242	253	249	△ 4	野菜収穫：△2	246	+ 3	コバイ：+3
農業機械計	626	661	640	△21		634	+ 6	
作業機・部品	279	295	304	+ 9	部品：+6	304	-	
施設工事	40	40	111	+71		105	+ 6	
農機関連 ^(*1)	176	177	173	△ 4		171	+ 2	
その他 ^(*2)	106	92	84	△ 8	サム電子：△5	86	△ 2	
合計	1,227	1,265	1,312	+47		1,300	+12	

*1 修理収入、農業用資材等

*2 コイン精米収入、子会社事業等

海外売上高の内訳

(単位：億円)

	08/3期 実績	09/3期 実績	10/3期 実績	前期比 増減	備 考	10/3期 予想	予想比 増減
北 米	54	65	40	△25	景気後退、円高による影響	40	-
欧 州	106	94	65	△29	景気後退、円高による影響	63	+ 2
中 国 ^(*1)	13	19	35	+16	農政の後押しによる市場拡大	34	+ 1
アジア ^(*2)	26	23	18	△ 5	韓国ウォン安による影響	20	△ 2
オセアニア	5	9	4	△ 5		4	-
製品 計	204	210	162	△48		161	+ 1
部品その他	16	21	19	△ 2		19	-
合 計	220	231	181	△50		180	+ 1

(*1) 中国の売上は1~12月の実績

(*2) 中国を除くその他アジア

営業利益

(単位：億円、%)

科 目	08/3期 実績		09/3期 実績		10/3期 実績		前期比 増減	10/3期 業績 予想	予想比 増減
	金額	比率	金額	比率	金額	比率			
売上高	1,447	100.0	1,496	100.0	1,493	100.0	△ 3	1,480	+13
売上原価	996	68.8	1,037	69.3	1,019	68.3	△18	1,015	+ 4
売上総利益	451	31.2	459	30.7	474	31.7	+15	465	+ 9
販管費	444	30.7	443	29.6	429	28.7	△14	432	△ 3
営業利益	7	0.5	16	1.1	45	3.0	+29	33	+12

※前期比

[減益要因]

- ・ 国内外農機製品売上減等による影響 : △25
- ・ 為替レート差 : △ 5

[増益要因]

- ・ 製品価格値上げによる採算改善 : +17
- ・ 原材料価格値下り+コストダウン : +16
- ・ 棚卸資産評価減の減少 : + 5
- ・ 在庫評価法の変更による影響 : + 4
- ・ その他 : + 3
- ・ 販管費（物流費等） : +14

経常利益、当期純利益

(単位：億円)

	08/3期 実績	09/3期 実績	10/3期 実績	前期比 増減	10/3期 予想	予想比 増減
営業利益	7	16	45	+29	33	+12
金融収支	△12	△11	△10	+1	△12	+2
その他営業外収支	5	3	1	△2	-	+1
経常利益	0	8	36	+28	21	+15
特別利益	15	6	1	△5	1	-
特別損失	△20	△9	△10	△1	△2	△8
税前利益	△5	5	27	+22	20	+7
税、税調整額	△10	△5	△4	+1	△9	+5
当期純利益	△15	0	23	+23	11	+12

※当期の主な特別損益項目

[特別損失]	減損損失・環境対策費	: 5億円
[税・税調整額]	繰延税金資産の計上	: 7億円

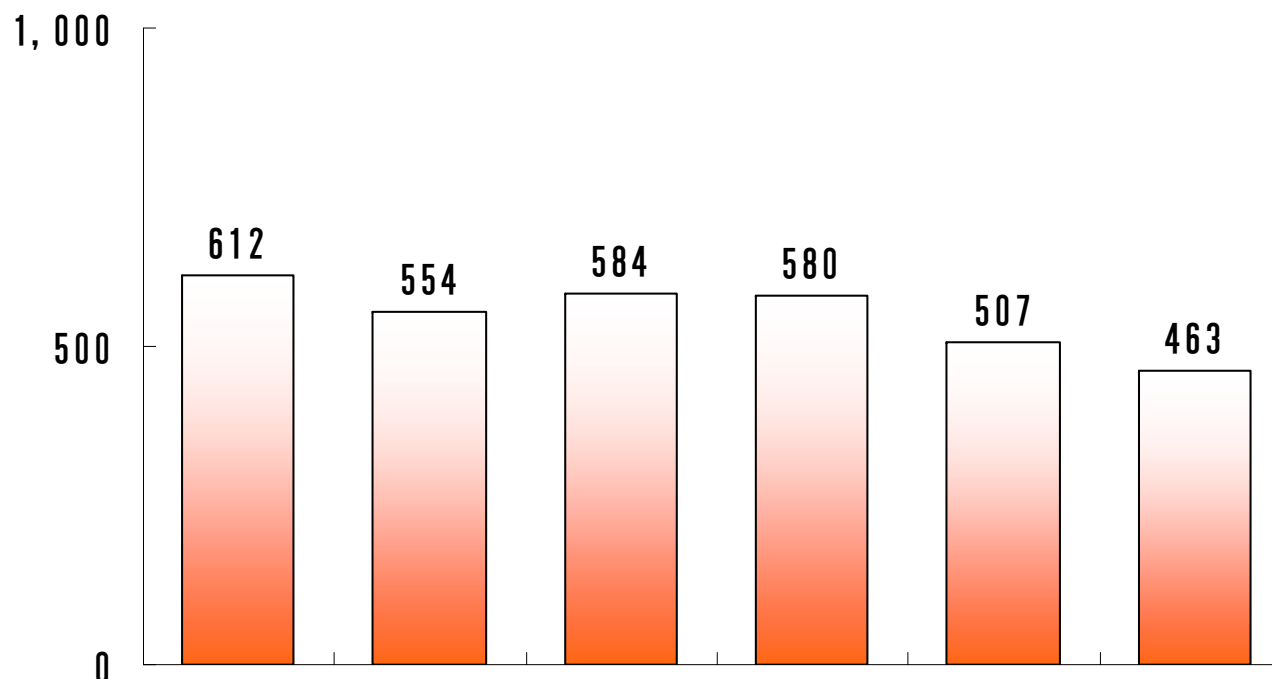
バランスシート

(単位：億円)

科 目	08/3 実績	09/3 実績	10/3 実績	前期末 増 減	前々期末 増 減
現金・預金	58	57	67	+10	+ 9
売掛債権	289	287	293	+ 6	+ 4
棚卸資産	426	420	415	△ 5	△ 11
その他流動資産	34	42	32	△10	△ 2
固定資産	925	904	903	△ 1	△ 22
資産合計	1,732	1,710	1,710	-	△ 22
支払手形・買掛金	408	438	418	△20	+ 10
借入金・社債	579	507	462	△45	△117
その他負債	220	248	274	+26	+ 54
(負債計)	(1,207)	(1,193)	(1,154)	△39	△ 53
純資産	525	517	556	+39	+ 31
(うち利益剰余金)	(41)	(41)	(61)	+20	+ 20
負債・資本合計	1,732	1,710	1,710	-	△ 22

有利子負債残高と財務指標

(億円) **有利子負債残高の推移** *割引手形含む



	05/3	06/3	07/3	08/3	09/3	10/3	
D/Eレシオ	1.2	1.0	1.1	1.1	0.98	0.83	(倍)
自己資本比率	27.1	30.5	29.8	29.4	29.4	31.6	(%)

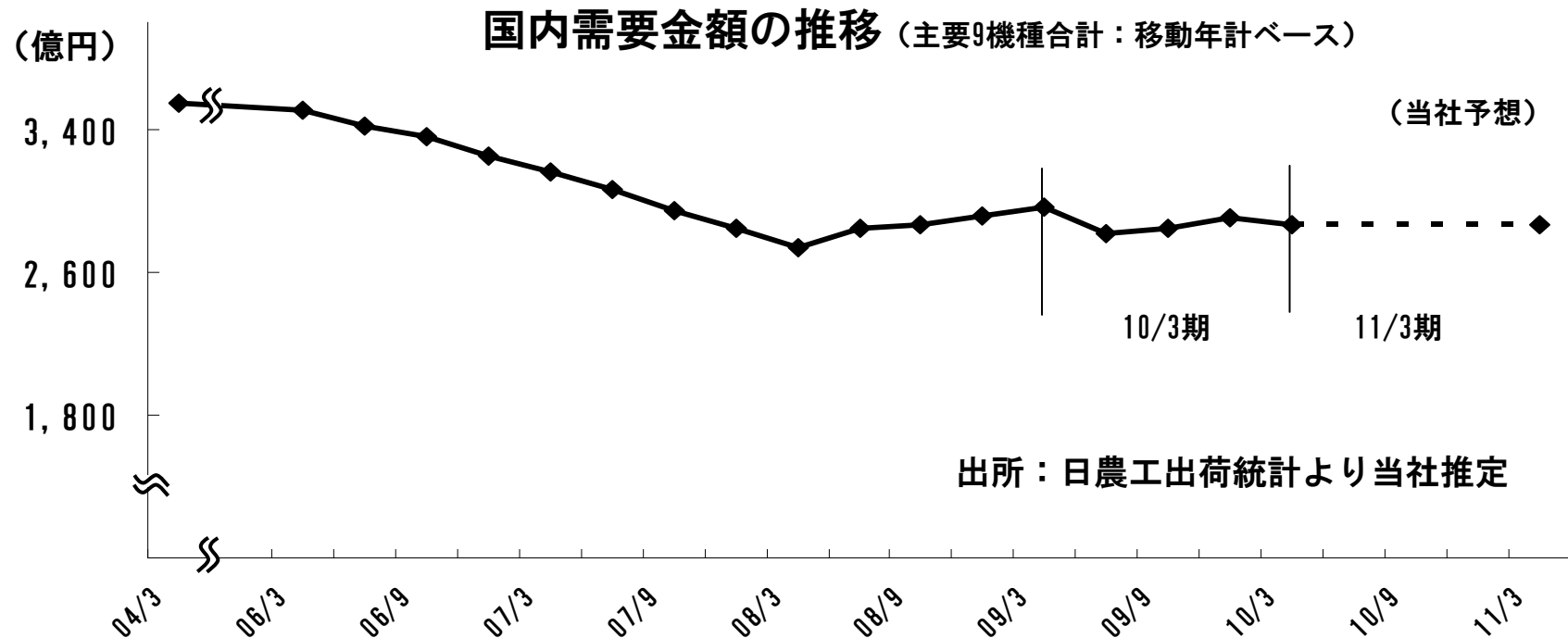
*D/Eレシオ=有利子負債/純資産

2. 国内外市場の動向



国内農機需要の推移

農機需要の推移（見通し）



- ・ 10/3期 緊急機械リース支援事業の開始が送れたことにより一時落ち込んだが事業の実施に伴い回復したものの、その後、景気低迷などの影響により軟調に推移。
- ・ 11/3期 景気回復には今しばらく時間を要すると思われることから、農機需要を横ばいと予想。

国内農機市場の状況

国内農機業界出荷と当社実売

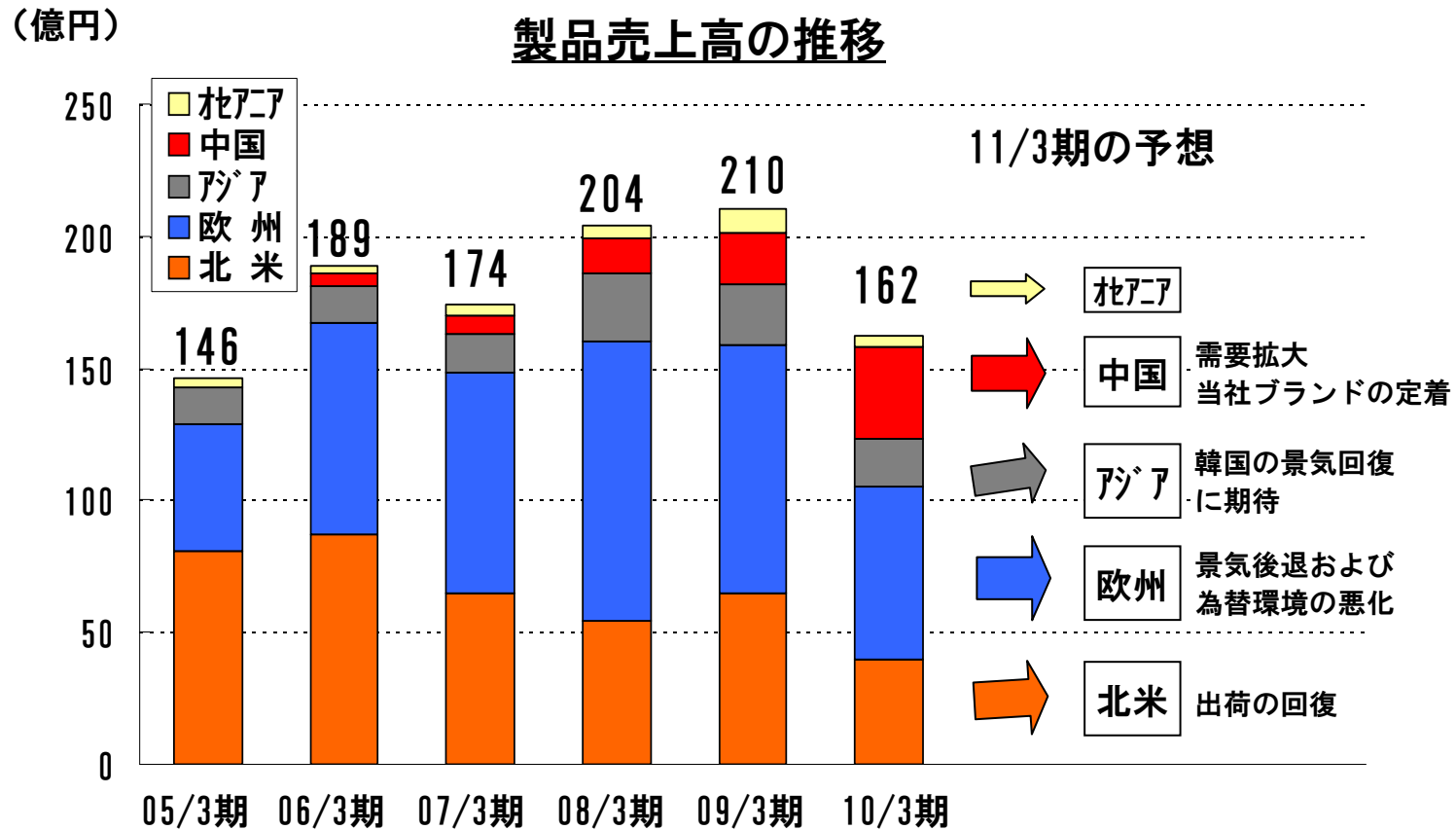
※主要9機種金額ベース、伸長率（単位：％）

* 日農工出荷統計より当社推定

	06/4月～07/3月 実績	07/4月～08/3月 実績	08/4月～09/3月 実績	09/4月～10/3月 実績
業界（出荷）*	90.1	86.4	108.3	96.9
当社実売	90.7	94.1	106.5	96.9

- ・ 業界出荷は、前期比微減。
- ・ 当社実売も、同様に推移。

海外売上高の推移と見通し



海外総売上高	159	205	188	220	231	181	(億円)
海外売上比率	10.1	12.7	12.3	15.2	15.4	12.1	(%)

20%以上

北米市場の動向と戦略

1. 北米コンパクトトラクタ市場

※インゾン50PS (PT040PS) 以下、芝刈機は含まない。

	09/ 1~4月	10/ 1~4月	前年同期比	
			増減	伸長率
米国	23	26	3	111%
カナダ	3	2	△ 1	78%
北米 計	26	28	2	108%

(単位：千台)

*計数は四捨五入表示で無調整

- ・ AEMIによる2010年需要見通しは前年比減少見込み

出所：AEM統計（米国機器製造者団体：Association of Equipment Manufacturers）

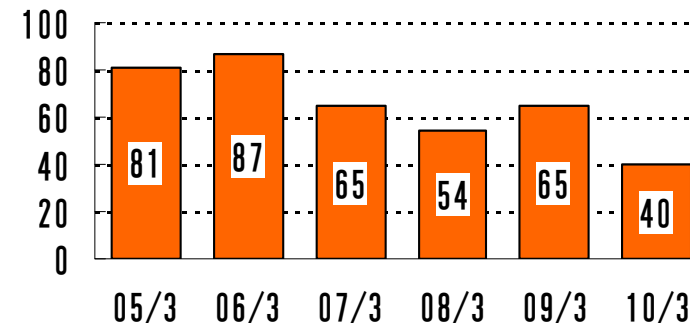
2. 当社の状況及び戦略

- ・ OEM取引先の実売は、前年を下回り、今後販売推進を強化する方針。
- ・ OEM取引先は、前年に仕入を抑制したため、在庫水準は計画の範囲内。
- ・ 当社足元の受注は、堅調に推移。



現地実売動向を注視し、商品力の向上と販売の回復を図る。

(億円) 北米向け製品売上高の推移



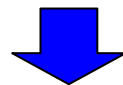
欧州市場の動向と戦略

1. 欧州市場の動向

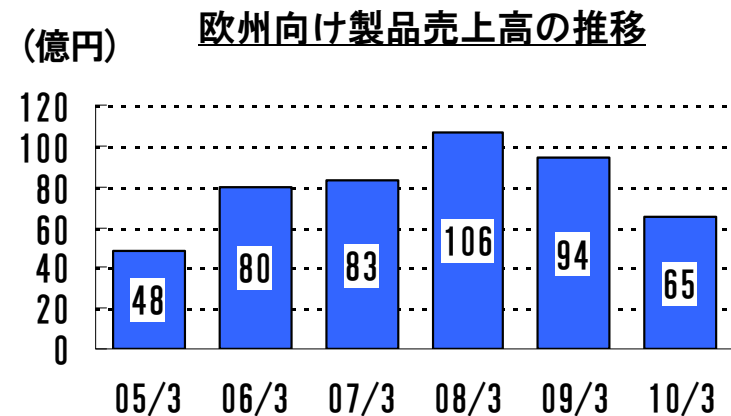
- ・ 景気後退の影響が顕著で、コンシューマー、プロ市場とも影響。
- ・ 経済・市場回復の顕著な兆しはなく、市場の縮小が続く可能性を含む。

2. 当社の状況及び戦略

- ・ 欧州代理店の実売は、前年を下回り推移。
- ・ 各国代理店の在庫水準は、前年の慎重な仕入れにより適正なレベル
- ・ 当社足元の受注は、前年を上回るも、市場環境に不透明感。



新商品の拡販、新市場での着実な販売により売上の維持・拡大を目指す。



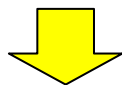
中国およびアジア市場の動向と戦略

1. アジア市場の動向

- ・ 中国：補助金の増額により、農業機械市場は活況を維持。
- ・ 韓国：経済成長が見込まれており、販売回復に期待。

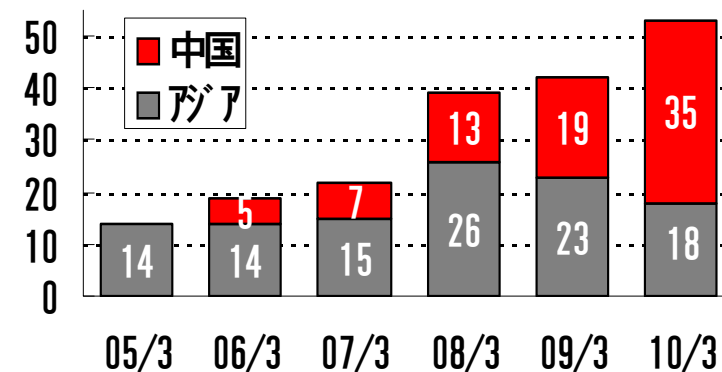
2. 当社の状況及び戦略

- ・ 中国
田植機は増販、コンバイン販売横ばい。
- ・ 韓国
景気回復による、販売回復に期待。
- ・ 東南アジア
機械化は持続的に進む。当社は販売力・商品力の強化を急ぐ。

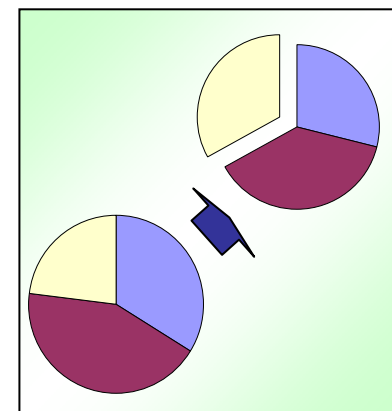


- ・ 中国は生産、販売、サービス体制の拡充を図る。
- ・ 東南アジアは販売体制の強化、商品競争力の向上を目指す。

(億円) アジア向け製品売上高の推移



3. 2011年3月期 通期業績予想



業績予想のポイント

- ①国内売上
 - 今期農機需要は横ばい
 - 施設工事の減少
 - 創立85周年記念商品投入

- ②海外売上
 - 欧州 景気先行き不透明により横ばい
 - 北米 OEM先の仕入れ回復による増加
 - 中国 田植機は増販、コンバインは一服

- ③収益
 - 原材料価格高騰による影響
 - 為替レートの影響
 - 販管費の増加

2011年3月期 通期業績予想

(単位：億円、%)

科 目	09/3期実績		10/3期実績		11/3期業績予想		増減
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	
売上高	1,496	100.0	1,493	100.0	1,510	100.0	+17
(国内)	1,265	84.6	1,312	87.9	1,320	87.4	+8
(海外)	231	15.4	181	12.1	190	12.6	+9
営業利益	16	1.1	45	3.0	35	2.3	△10
経常利益	8	0.5	36	2.4	26	1.7	△10
当期純利益	0	0.0	23	1.6	11	0.7	△12

・ 想定為替レートは、米ドル：90円、ユーロ：120円

4. トピックス

- ・ 国内農政の動向について



電動ミニ耕うん機
「エレ菜」と「あすな」

国内農政の動向

1) 2010年3月30日閣議決定

新たな食料・農業・農村基本計画

国民全体で農業・農村を支える社会の創造を目指す

目標：2020年食料自給率50%

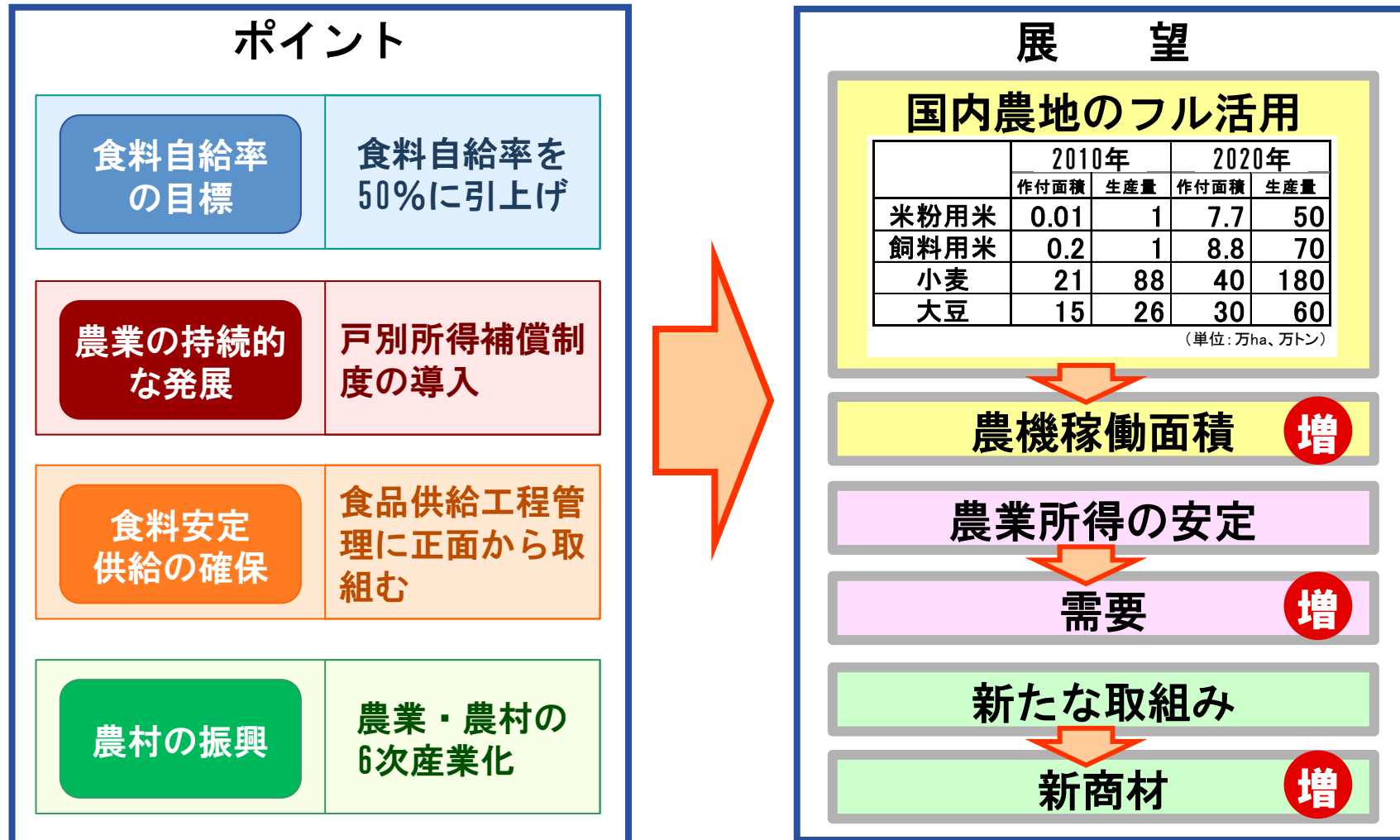
食料・農業・農村基本計画（以下基本計画）とは

- 政府が食料・農業・農村に関する中長期的(10年間)に、取り組むべき方針を定めたもの。(5年毎の見直し)
- 今後の農業政策の柱となり、農業に関する施策(事業)は、この基本計画をもとに策定される。

出典：農林水産省

国内農政の動向

2) 基本計画のポイントと今後の展望



将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的风险や不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。
本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動
FOOD ACTION NIPPON

井関グループは FOOD ACTION NIPPON の推進パートナーです。